

滋 農 技 セ 第 201 号
令和 5 年（2023 年）5 月 30 日

関係機関の長 様

滋賀県農業技術振興センター所長
（ 公 印 省 略 ）

令和 5 年度一番茶萌芽状況および実収について（報告）

このことについて、別紙のとおり報告します。

担当：滋賀県農業技術振興センター
茶業指導所 樋口 豊士
TEL 0748-62-0276
FAX 0748-62-7095

令和5年度一番茶萌芽状況報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 萌芽期

本年	前年	前5か年
3月31日	4月8日	4月5日

2. 生育状況

項目	年次	4月12日	4月17日	4月22日	4月27日	5月2日
新芽長 (cm)	本年	0.70 ± 0.39	1.17 ± 0.51	2.66 ± 0.91	4.04 ± 1.12	6.15 ± 1.29
	前年	0.28 ± 0.19	1.05 ± 0.46	1.74 ± 0.71	4.05 ± 1.30	5.63 ± 1.64
	前5か年	0.56 ± 0.27	1.00 ± 0.41	2.00 ± 0.73	3.36 ± 1.13	4.25 ± 1.31
新葉数 (枚)	本年	0.50 ± 0.58	1.10 ± 0.76	2.10 ± 0.74	2.48 ± 0.79	3.36 ± 0.63
	前年	0.02 ± 0.14	0.48 ± 0.54	1.06 ± 0.74	2.06 ± 0.68	2.88 ± 0.66
	前5か年	0.31 ± 0.24	0.63 ± 0.42	1.26 ± 0.62	2.05 ± 0.65	2.45 ± 0.69

3. 気象表

項目・年次 月・旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	3.4	2.4	2.9	8.9	8.1	8.0	-1.5	-1.6	-1.2
	4.7	1.8	2.6	10.9	6.6	7.7	-0.1	-2.2	-1.7
	0.0	1.7	2.4	5.1	7.0	7.3	-3.8	-3.0	-1.7
2月 上旬	3.4	2.2	2.2	9.0	7.9	7.6	-1.6	-2.2	-2.3
	4.7	2.3	3.1	9.4	8.3	8.5	0.5	-2.6	-1.3
	3.1	2.0	4.4	8.5	8.9	10.1	-1.2	-3.5	-0.6
3月 上旬	7.7	4.3	5.2	15.8	11.2	10.9	0.5	-1.8	0.3
	9.6	10.3	6.5	17.2	16.4	12.7	2.3	4.5	0.9
	11.2	9.2	7.8	17.6	14.8	14.0	5.5	3.5	2.1
4月 上旬	12.3	11.4	10.0	19.3	18.9	16.5	6.1	4.3	4.2
	13.5	14.8	12.0	20.1	21.3	18.4	7.5	8.9	6.0
	13.2	16.1	13.7	18.9	21.9	20.1	7.5	11.0	7.9
5月 上旬	15.8	14.6	15.9	22.6	21.3	22.3	9.7	7.9	10.1

項目・年次 月・旬	降水量 (mm)			降水日数 (日)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年
1月 上旬	4.5	5.0	16.9	5	5	3.9
	18.0	6.0	19.3	2	2	3.9
	10.0	16.0	25.3	7	3	4.6
2月 上旬	19.5	1.5	18.7	3	2	4.4
	18.0	17.0	26.8	4	4	4.3
	17.0	3.5	22.7	4	1	3.5
3月 上旬	8.5	14.5	32.6	1	2	4.6
	11.0	42.0	32.4	3	4	3.9
	28.5	26.5	38.1	4	5	4.6
4月 上旬	34.5	11.0	34.8	3	2	3.7
	40.5	12.0	34.2	7	2	4.1
	58.5	60.5	33.1	4	5	3.7
5月 上旬	92.5	7.5	36.5	3	2	3.5

終霜日 本年 3月30日 (最低気温 0.6°C) 前年 4月2日 (最低気温 -1.3°C)
 最低極温 本年 -9.3°C (1月26日) 前年 -5.9°C (2月25日)

4. 供試園の条件

品 種	定植年次	栽植密度	樹高	株張り	その他
やぶきた	平成2年3月 (34年生)	180cm×30cm	110cm	180cm	防霜ファン設置ほ場

年間施肥成分量 (kg/10a) N:53.3 P₂O₅:16.0 K₂O:19.0

5. 概況

1) 気象

本年の平均気温について、1月から2月は概ね暖冬傾向にあったものの、寒暖差は大きかった。3月上旬から4月上旬は平年よりかなり高く推移し、4月下旬から5月上旬は平年並みであった。

降水量は、1月から2月は少ない～平年並みで推移した（それぞれ平年比53%、80%）。3月は平年より少なく（47%）、4月は平年並み～多く推移し（131%）、5月上旬は平年よりかなり多くなった（253%）。

2) 生育

1月から2月にかけて暖冬傾向にあったことに加え、3月の平均気温が平年よりかなり高く推移したため、一番茶萌芽期は前年より8日、前5か年平均より5日早い3月31日となった。なお、4月下旬から5月上旬の平均気温が平年並みであったため、新芽の生育は早まることなく平年並みとなった。

令和5年度一番茶実収報告

滋賀県農業技術振興センター茶業指導所

1. 摘採日

本年	前年	前5か年
5月4日	5月6日	5月7日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本年		前年		前5か年	
収量	指数	収量	指数	収量	指数
313 ± 69	68	441 ± 66	96	459 ± 57	100

3. 百芽重 (g)

本年		前年		前5か年	
重量	指数	重量	指数	重量	指数
31.6 ± 3.6	80	42.6 ± 2.0	107	39.8 ± 3.4	100

4. 新芽数 (本/m²)

本年		前年		前5か年	
芽数	指数	芽数	指数	芽数	指数
1388 ± 74	114	1252 ± 192	102	1223 ± 123	100

5. 出開度 (%)

本年	前年	前5か年
24	47	50

6. 概況

1) 生育

本年の一番茶は、萌芽期が前5か年平均より5日早かったが、4月下旬から5月上旬の平均気温が平年並みとなったため新芽の生育も平年並みとなった。摘採日は前年より2日、前5か年平均

均より3日早い5月4日であった。

新芽数は、前5か年平均の114%であったものの百芽重が同80%となり、出開き度が24%であったことから、生葉収量は前5か年平均の68% (313kg/10a) となった。

2) 県内の状況

平坦地の摘採始めは4月24日頃、山間地は4月27日頃であり、平坦地、山間地ともに平年より7日程度早かった。収量は平坦地、山間地ともに芽数不足により2割程度減収した。

3) 病害虫の発生

チャノコカクモンハマキの越冬世代成虫の飛来時期が早く、発生量はやや多かったが、その他の病害虫の発生は少なく、一番茶の生育・収量への影響はなかった。